

2015年度 日本気象学会東北支部第1回理事会 議案

日時：2015年4月24日（金）16時00分～18時00分

場所：仙台管区気象台第3会議室

開会の挨拶：境田支部長代理

出席者紹介

議 題

- | | |
|------------------------------|--------|
| 1. 新支部長・常任理事・地方理事・会計監査・幹事の互選 | 2 ページ |
| 2. 事業等の担当理事の選任 | 3 ページ |
| 3. 2014年度事業報告及び会計報告 | |
| (1) 2014年度事業報告 | 3 ページ |
| (2) 2014年度会計報告 | 5 ページ |
| 4. 2014年度会計監査報告 | 7 ページ |
| 5. 2015年度事業計画及び予算 | |
| (1) 2015年度事業計画 | 8 ページ |
| 1) 支部気象講演会 | 8 ページ |
| 2) 支部気象研究会 | 8 ページ |
| 3) 支部だよりの発行 | 8 ページ |
| 4) 支部理事会 | 9 ページ |
| 5) 支部強化基金による活動 | 9 ページ |
| 6) 日本気象学会奨励賞などへの応募 | 9 ページ |
| (2) 2015年度予算案 | 10 ページ |
| 6. その他 | |
| 事務局から | 12 ページ |

資 料

- | | |
|-----------------------------|--------|
| 2015年度支部活動強化基金による活動計画(提出資料) | 13 ページ |
| 役員名簿案(第29期2015年度) | 14 ページ |
| 東北支部規則 | 15 ページ |
| 東北支部細則 | 17 ページ |

1. 新支部長・常任理事・地方理事・会計監査・幹事の互選

「支部規則」第10条、「支部細則」12項の規定に基づき、新支部長、新常任理事、新地方理事、新会計監査、新幹事を推薦選任する。

事務局(案)は次のとおり。

*事務局(案)

支部長	長谷川 直之 氏	仙台管区気象台長
常任理事	野村 竜一 氏	仙台管区気象台気象防災部長
地方理事	名越 利幸 氏	岩手大学教授(理科教育科)
	岩尾 尊徳 氏	秋田地方気象台長
会計監査	白川 栄一 氏	仙台航空測候所長
幹事	斎藤 篤思 氏	仙台管区気象台気象防災部防災調査課調査官
	廣川 康隆 氏	仙台管区気象台気象防災部予報課技術専門官

・新支部長挨拶

2. 事業等の担当理事の選任

・事務局(案)は次のとおり。東北支部だより担当は調整の結果、青木常任理事を選任。

*事務局(案)

①支部気象講演会 (2015年度宮城開催)	境田常任理事 在仙理事
②支部気象研究会	渡辺常任理事
③東北支部だより	○青木常任理事
④支部独自活動	杉山常任理事
⑤支部事務局	渡辺常任理事
⑥会計監査	○白川会計監査

○印は新任

・東北支部第29期役員の任期は2015年度まで

- ・理事および会計監査に欠員を生じた場合は支部規則に沿う
- ・支部長の代行は支部規則に沿う

・全国理事

岩崎理事が第38期理事候補者選挙において当選

※ 日本気象学会東北支部第29期役員名簿は、14ページのとおり。

3. 2014年度事業報告及び会計報告

(1) 2014年度事業報告

1) 東北支部気象講演会

日時：平成26年11月23日（日） 14時00分～16時30分（開場13時30分）

場所：コラッセふくしま 多目的ホール（4F）

〒960-8053 福島県福島市三河南町1番20号

テーマ：「東日本大震災以後の福島空 ー豪雨、大雪、大気中放射性物質ー」

（1）「大気中放射性物質の動態と今後の課題」

講師：渡邊 明氏（福島大学 共生システム理工学類 特任教授）

（2）「福島における最近の大雨と大雪」

講師：小畑 英樹氏（福島地方気象台 観測予報管理官）

参加人数：約70名

主催：日本気象学会東北支部

共催：福島地方気象台

後援：福島県、福島市

東北支部だより第81号に開催報告を掲載予定

2) 支部強化基金による活動

第5回気象サイエンスカフェ東北

日時：平成26年11月16日（日）13時30分～16時00分（開場13時30分）

場所：エル・ソーラ仙台 大研修室（28階）

〒980-6128 仙台市青葉区中央1丁目3-1 アエル 28階・29階

テーマ：「気象衛星ひまわり」

～地球を見る、空を見る、天気を見る：人工衛星から見えてくるものとは～

話題提供：早坂 忠裕氏（東北大学 教授 大学院理学研究科長）

司会：鈴木 智恵氏（日本気象協会東北支局 気象予報士）

参加人数：50名（一般参加者23名）

主催：日本気象学会東北支部・日本気象予報士会東北支部

共催：日本気象協会東北支局・仙台管区気象台

3) 東北支部気象研究会

日時：平成26年12月9日（火）13時～16時

場所：仙台第3合同庁舎4階第1会議室

発表：7題

参加人数：約25名

仙台管区気象台と共催

気象研究会の発表演題、著者（発表者に○）

・青森空港における大雪事例の特徴

○正木 登・石黒 友紀・高橋 未来（仙台航空測候所青森空港出張所）

・2013年9月15日～16日にかけての台風第18号による大雨の解析

- 佐藤 賢一・松永 崇（盛岡地方気象台）
- ・温位座標を用いた寒気質量の気候学的特性と変動特性の解析
 - 菅野 湧貴・岩崎 俊樹（東北大学大学院理学研究科）
- ・陸面過程モデル2LM を用いたいもち病被害の評価
 - 五十嵐 健祐・山崎 剛・吉田 龍平（東北大学大学院理学研究科）
- ・温暖化時代の安定したコメ生産に向けた適応策の検討
 - 吉田 龍平（東北大学大学院理学研究科）・福井 眞（農業環境技術研究所）
- ・積雪水資源予測に向けた冬季東北地方の気温場の再現実験 - 水平解像度依存性 -
 - 高松 直史・岩崎 俊樹・山崎 剛（東北大学大学院理学研究科）
- ・雲解像モデルを用いた台風周辺の風蒸発が台風の組織化に与える影響
 - 青野 憲史・岩崎 俊樹（東北大学大学院理学研究科）

4) 東北支部だより

■第79号（2014年8月発行）

- ・支部長就任挨拶：高瀬 邦夫氏（日本気象学会東北支部長）
- ・寄稿「気象学と大学・社会」
 - ：早坂 忠裕氏（東北大学 大学院理学研究科長・理学部長）
- ・第4回 気象サイエンスカフェ東北：杉山公利氏（日本気象予報士会東北支部）
- ・2013年度 日本気象学会東北支部第2回理事会 議事録
- ・2014年度 日本気象学会東北支部第1回理事会 議事録
- ・日本気象学会東北支部第29期役員選挙結果について（投票結果の公示）

■第80号（2014年11月発行）

- ・福島県の気象と防災上の課題：高橋 清利氏（福島地方気象台長）
- ・平成26年度東北支部「気象講演会」開催のお知らせ
- ・東北支部「気象研究会」の開催案内と講演募集
- ・第5回気象サイエンスカフェ東北のご案内
- ・日本気象学会東北支部のホームページURL変更について

（第81号の発行は、編集担当の都合により延期）

5) 支部理事会

- ・第1回（2014年6月13日，仙台管区気象台第3会議室）
- ・第2回（2015年3月12日，仙台管区気象台第3会議室）

6) 2015年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の公募

申請はなし。

7) 2015年度日本気象学会奨励賞への応募

推薦はなし。

(2) 2014年度会計報告

〔支部一般会計〕(2014年4月1日～2015年3月31日)

	予算額	決算額	差異
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	567,200 円	*1567,200 円	0 円
前期繰越金	168,637 円	168,637 円	0 円
事業収入(広告料等)	0 円	0 円	0 円
雑収入			
預金利息	50 円	82 円	32 円
事業活動収入計(1)	735,887 円	735,919 円	32 円
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
支部だより	230,000 円	170,265 円	59,735 円
支部気象講演会	250,000 円	147,766 円	102,234 円
支部気象研究会	40,000 円	15,020 円	24,980 円
ホームページ運営費	15,000 円	15,000 円	0 円
管理費支出			
支部理事会	70,000 円	39,726 円	30,274 円
支部役員選挙	20,000 円	24,637 円	△4,637 円
事務費	10,000 円	4,460 円	5,540 円
事業活動支出計(2)	635,000 円	416,874 円	218,126 円
III 予備費支出			
予備費支出	100,887 円		
(気象サイエンスカフェ補助)		4,230 円	96,657 円
予備費支出計(3)	100,887 円	4,230 円	96,657 円
当期収支(A)=(1)-(2)-(3)		314,815 円	
次期繰越額(A)	0 円	314,815 円	

※マイナスの金額には、△印を付した。

*1 本部交付金は、支部会員 181 名×1,200 円+35 万円。

〔支部強化基金による活動会計〕（気象サイエンスカフェ東北）

	予算額	決算額	差異
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	77,000 円	77,000 円	0 円
気象予報士会東北支部分担金	10,000 円	10,000 円	0 円
事業収入（広告料等）	0 円	0 円	0 円
雑収入	0 円	0 円	0 円
事業活動収入計(1)	87,000 円	87,000 円	0 円
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
資料印刷費	22,000 円	30,240 円	△8,240 円
講師謝金	15,000 円	0 円	15,000 円
事務費	15,000 円	2,901 円	12,099 円
役務費・交通費	25,000 円	35,980 円	△10,980 円
会場費 開催費	10,000 円	22,109 円	△12,109 円
事業活動支出計(2)	87,000 円	91,230 円	△4,230 円
当期収支差額=(1)-(2)	0 円	△4,230 円	

※マイナスの金額には、△印を付した。

※不足分 4,230 円は、一般会計から補助。

4. 2014年度会計監査報告

預金通帳、現金、領収書を照合の結果、誤りがないことを認めます。

なお、多額な繰越額となっており、有効な活用の検討が必要である。

2015年3月〇日

日本気象学会東北支部会計監査

小室 肇 

5. 2015年度事業計画及び予算

(1) 2015年度事業計画

1) 東北支部気象講演会（担当：境田理事）

2007年度以降の開催状況

年度	開催地	講演者		
2007年度	青森市	板谷 宏之	児玉 安正	
2008年度	福島市	渡邊 明	大久保 忠之	
2009年度	大崎市	境田 清隆	大場 淳司	
2010年度	秋田市	佐藤 威	栗田 邦明	
2011年度	盛岡市	岩崎 俊樹	神田 英司	
2012年度	山形市	阿部 修	柳澤 文孝	
2013年度	弘前市	楠 研一	児玉 安正	
2014年度	福島市	渡邊 明	小畑 英樹	

- ・2015年度は宮城県で開催予定。テーマや開催日時、場所について本理事会で選定したい。

【概要】

日 時：2月中旬～下旬

会 場：仙台市内

テーマ：

- ・2016年度は秋田県で開催予定。今後(2015年秋以降)準備を進めていくこととしたい。
(担当理事は境田理事及び、秋田県の理事) 但し、気象講演会等に係る方針が変更になった場合、それに応じて変更することとしたい。

2) 東北支部気象研究会（担当：渡辺理事）

仙台管区気象台の調査研究会に、可能な限り日程を合わせて共催で開催予定。

2015年度の開催については、仙台管区気象台 防災調査課と検討する。気象台と部外機関との連携や知見の共有等を目的に、一部の日程において気象台の調査研究会と東北支部気象研究会の共催も一つの手段として検討したい。

なお研究を本務としない会員の発表者には、気象学会東北支部から交通費の一部補助を引き続き行うが、より多くの発表者を募るため、新年度の早い段階で、補助の周知を行いたい。

3) 東北支部だより（担当：青木理事）

- ・年2回発行(第81号、82号)の予定。
- ・発行作業は原稿のとりまとめまでとし、編集、印刷及び会員への発送は業者発注と

¹ 2014年度第2回理事会の議案：東北6県の持ち回り開催について（本件は今年度1年かけて議論予定）

し、作業を簡略化する方向で進めたい。係る予算については別紙参照。

- ・編集担当を、本理事会で検討する。
- ・支部活動の周知事項を支部だよりで知らせるため、発行時期、回数も本理事会で検討する。

4) 支部理事会

年2回開催している。

2015年度第1回理事会 本日開催。

2015年度第2回理事会は、東北支部の意見を取りまとめて上げられるよう、全国支部長会議前に開催したい（開催日は4月24日現在未定）。

5) 支部強化基金による活動（担当：杉山理事）

- ・気象サイエンスカフェ東北を秋頃に仙台市で開催する予定。担当の杉山理事より、気象予報士会会合ではテーマを決められなかったため、本理事会でテーマ・日時を選定していただく要望を伺っている。テーマと日時が決まり次第、場所を確保することが必要なため、できるだけ速やかに準備を進めていく。
- ・なお2016年度以降の当事業活動の（開催場所等の）運営方針は、気象講演会等に係る方針が変更になった場合、それに応じて変更することとしたい。

6) 日本気象学会奨励賞などへの応募（担当：野村理事）

- ・奨励賞は、研究を本務としない方々が行う調査や研究を奨励するために設けられた賞。従来は気象台職員が主な受賞者であったが、事務局としては幅広い職種、たとえば学校の先生などを推薦したいと考えている。推薦者があつたら担当理事または事務局へお知らせください。

(2) 2015年度予算案

〔支部一般会計〕

	2015年度予算額	2014年度予算額	増減
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	*1558,800円	567,200円	△8,400円
前期繰越金	314,815円	168,637円	146,178円
事業収入(広告料等)	0円	0円	0円
雑収入			
預金利息	50円	50円	0円
事業活動収入計(1)	873,665円	735,887円	137,778円
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
支部気象講演会	250,000円	250,000円	0円
支部気象研究会	100,000円	40,000円	60,000円
支部だより	*2230,000円	230,000円	0円
ホームページ運営費	15,000円	15,000円	0円
管理費支出			
支部理事会	85,000円	70,000円	15,000円
支部役員選挙	20,000円	20,000円	0円
事務費	*3150,000円	10,000円	140,000円
事業活動支出計(2)	850,000円	635,000円	215,000円
III 予備費支出			
予備費支出	23,665円	100,887円	△77,222円
予備費支出計(3)	23,665円	100,887円	△77,222円
当期収支差額(A)=(1)-(2)-(3)	0円	0円	0円
次期繰越収支差額(A)+(B)	0円	0円	0円

※マイナスの金額には、△印を付した。

*1本部交付金は、支部会員174名×1,200円+35万円で計算。

*2支部だよりは、2回発行および、業者発送を予定した。

*3各事務処理や講演会で利用するためのノートPCおよび周辺機器費用(120,000円)および「日本気象学会東北支部」の印字入り角2封筒1,000部費用(20,000円)を計上。

〔支部強化基金による活動会計〕（気象サイエンスカフェ東北）

	2015年度 予算額	2014年度 予算額	2014年度 決算額	予算額増減 [2015年-2014年]
I 収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	82,000円	77,000円	77,000円	5,000円
気象予報士会東北支部分担金	*110,000円	10,000円	10,000円	0円
事業収入（広告料等）	0円	0円	0円	0円
雑収入	0円	0円	0円	0円
収入計(1)	92,000円	87,000円	87,000円	5,000円
II 支出の部				
事業活動支出				
事業費支出				
資料印刷費	22,000円	22,000円	30,240円	0円
会場費 開催費	15,000円	10,000円	22,109円	5,000円
講師謝金	10,000円	15,000円	0円	△5,000円
事務費	10,000円	15,000円	2,901円	△5,000円
役務費・交通費	35,000円	25,000円	35,980円	10,000円
事業活動支出計(2)	92,000円	87,000円	91,230円	5,000円
当期収支差額=(1)-(2)	0円	0円	△4,230円	0円

※マイナスの金額には、△印を付した。

*12015年度気象予報士会東北支部分担金は予定。

6. その他

事務局から

① 東北支部会員数（個人会員、このうち増減は気象庁職員のみ反映）

2015年4月1日現在

県名	会員数	2014.04
青森県	24名	25名
岩手県	17名	20名
秋田県	15名	13名
山形県	15名	14名
宮城県	82名	88名
福島県	21名	22名
合計	174名	182名

8名減

②口座の変更について

現在、七十七銀行の口座にて、会計管理をしている（金庫にて一部現金管理）。この口座をゆうちょ銀行に変更したい。変更理由は、ゆうちょ銀行は気象台のある第3合同庁舎内にあるため金銭の出納が容易であり、現金を管理する必要もなくなるため。口座変更の問題ないことは本部に確認済み。

③旅費等について

交通費については

青森は 21,000円 [10,500円×2]

弘前は 22,300円 [11,110円×2]

秋田は 20,100円 [10,030円×2]

盛岡は 12,200円 [6,090円×2]

山形は 2,100円 [900円×2+140円×2]

福島は 2,600円 [1,280円×2]

仙台、岩沼は1,000円をお願いします。

※100円未満の端数は切り上げています。

2015年度の支部活動強化基金計画

2015年度支部活動強化の取り組み（申請とその概要）

2015.01.23理事会(了承)

支部	北海道	東北	中部	関西	九州	沖縄
支部活動強化基金による活動	100,000	82,000	50,000	120,000	40,000	215,000
計画と予算	100,000	82,000	50,000	120,000	40,000	215,000
前年度予算	0	77,000	50,000	120,000	40,000	210,000
総額	100,000	159,000	100,000	240,000	80,000	425,000
九州支部活動費					86,000	49,000
その他						166,000

支部	北海道	東北	中部	関西	九州	沖縄
支部活動強化基金による活動	100,000	82,000	50,000	120,000	40,000	215,000
計画と予算	100,000	82,000	50,000	120,000	40,000	215,000
前年度予算	0	77,000	50,000	120,000	40,000	210,000
総額	100,000	159,000	100,000	240,000	80,000	425,000
九州支部活動費					86,000	49,000
その他						166,000

支部	北海道	東北	中部	関西	九州	沖縄
支部活動強化基金による活動	100,000	82,000	50,000	120,000	40,000	215,000
計画と予算	100,000	82,000	50,000	120,000	40,000	215,000
前年度予算	0	77,000	50,000	120,000	40,000	210,000
総額	100,000	159,000	100,000	240,000	80,000	425,000
九州支部活動費					86,000	49,000
その他						166,000

日本気象学会東北支部第 29 期 2015 年度役員名簿

2015 年 4 月 24 日

支部長	○長谷川 直之	仙台管区気象台長
常任理事	青木 周司	東北大学大学院教授（理学研究科）
	岩崎 俊樹	東北大学大学院教授（理学研究科）
	佐伯 芳	日本気象協会東北支局長
	境田 清隆	東北大学大学院教授（環境科学研究科）
	杉山 公利	日本気象予報士会東北支部長
	○野村 竜一	仙台管区気象台気象防災部長
	渡辺 真二	仙台管区気象台気象防災部予報課長
地方理事	児玉 安正	弘前大学大学院教授（理工学研究科）
	○名越 利幸	岩手大学教授（理科教育科）
	○岩尾 尊徳	秋田地方気象台長
会計監査	○白川 栄一	仙台航空測候所長
幹事	山崎 剛	東北大学大学院准教授（理学研究科）
	○斎藤 篤思	仙台管区気象台気象防災部防災調査課 調査官
○廣川 康隆	仙台管区気象台気象防災部予報課	技術専門官

○印は新任

以上

日本気象学会東北支部規則

昭和 32. 5. 26	成立
昭和 32. 7. 5	第 8. 11 条を改正、 第 15～19 条を追加
昭和 40. 11. 18	第 8 条を改正
昭和 56. 10. 12	第 2 条を改正
昭和 60. 3. 19	第 9 条を改正
平成 2. 6. 21	第 8 条を改正
平成 6. 2. 28	第 8. 9. 12. 14. 18 条を改正
平成 9. 6. 3	第 2 条を改正
平成 22. 6. 11	第 8 条を改正
平成 25. 6. 20	第 1. 2. 18 条を改正
平成 27. 3. 12	第 18 条を改正

- 第 1 条 本支部は公益社団法人日本気象学会東北支部という。
- 第 2 条 本支部は事務所を仙台市宮城野区五輪一丁目 3 番 15 号第 3 合同庁舎、仙台管区気象台内に置く。
- 第 3 条 本支部は東北 6 県に在住する全ての日本気象学会員で構成される。
- 第 4 条 本支部は日本気象学会の定款の範囲内で事業を行うが、特に支部会員の研究の奨励、推進ならびに相互の連絡につとめることを目的とする。
- 第 5 条 本支部は前条の目的を達成するために、講演会ならびに学術的会合の開催、その他この支部の目的にかなう事業を行う。
- 第 6 条 本支部の事業年度は毎年 4 月 1 日にはじまり、翌年 3 月 31 日に終わる。
- 第 7 条 本規則の実行に必要な細則は、支部理事会の決議によって別に定める。
- 第 8 条 本支部に次の役員を置く。
理事 8～11 名（常任理事 2～8 名内支部長 1 名）、会計監査 1 名。
- 第 9 条 理事および会計監査は支部会員の選挙によって定める。
ただし、任期中に欠員が生じた場合は細則の定めるところによって補充する。
- 第 10 条 支部長および常任理事は理事の互選によって理事の中から定める。
- 第 11 条 支部長はこの支部を代表して会務を総理する。支部長に事故があるとき、または欠けたときは、支部長があらかじめ指名した常任理事がその職務を代行する。
- 第 12 条 理事はこの支部の会務を行う。会計監査は支部の会計を監査する。
- 第 13 条 支部長は必要に応じ、会務の一部を処理するため幹事（2～3 名）を置くことができる。
- 第 14 条 理事および会計監査の任期は 2 年とする。ただし、重任は妨げない。
理事および会計監査は任期満了後でも後任者の就任するまでその職務を行う。
- 第 15 条 支部長は毎年 1 回および必要に応じて理事会を招集する。
- 第 16 条 理事会は過半数の理事の出席がなければ成立しない。
- 第 17 条 支部長は次の事項を理事会の承認を得て会員に報告しなければならない。
（1）事業計画および収支決算
（2）その他理事会において必要と認めた事項
- 第 18 条 本支部の経費は本部交付金（支部強化基金を含む）と寄付金とする。
- 第 19 条 この規約は理事の 3 分の 2 以上の賛成を得なければ変更することができない。
- 付則
- 第 20 条 この支部の設立当初の役員は設立準備会でこれを選任する。

以上

日本気象学会東北支部細則

昭和33. 7. 5	成立
昭和40. 11. 18	1項を改正
昭和41. 3. 15	7項を改正
昭和60. 3. 19	12、13、14の各項を改正
平成6. 2. 28	1、8、9、12、13の各項を改正
平成22. 6. 11	1項を改正
平成27. 3. 12	1項を改正

役員選挙

- 1 理事は東北地区在住の会員より8～11名選出する。このうち在仙理事5～8名、地方理事若干3名とする。
会計監査は東北地区在住の会員より1名を選出する。
- 2 次期理事の定数および在仙・地方別理事数は理事会で決定する。
- 3 候補者は理事会の推薦者および立候補者とし、投票締切日の20日前までに決定のうえ、会員に周知させるものとする。
- 4 立候補者は投票締切日の30日前まで支部長宛に届け出るものとする。
- 5 投票は無記名連記とする。ただし、連記数は第2項の決定による在仙・地方別理事数とする。
- 6 投票は文書投票とする。
- 7 有効投票により、各地区別に投票の多い順に次期理事を決定する。同数の場合は年少者を上位とする。ただし、得票数が有権者の10分の1に満たない者は理事に就任することができない。次点者も同様とする。
- 8 当選者が理事および会計監査就任を辞退した場合は次点者を繰り上げる。
- 9 理事および会計監査に欠員が生じた場合の補充は次点者をあてる。
- 10 開票は常任理事立ち会いのもと行う。
- 11 開票の結果は会員に報告する。
- 12 理事および会計監査に欠員を生じ、第9項による補充ができない場合は、理事会の推薦によって補充する。
- 13 第9項または第12項による補充理事および会計監査の任期は前理事および会計監査の残存期間とする。
- 14 そのほか選挙にあたって必要事項は支部長が決定し、事後に理事会に報告する。

以上